Operation Guide 2590/2591

CASIO

パワーセービング機能について

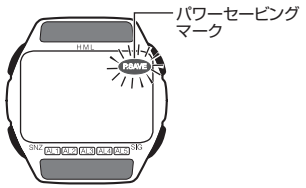
パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。
本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。
※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。

➡液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
アラーム・時報の報音は行ないます。

※時計機能は正常に作動しています。
※タイマーモード、ストップウオッチモードのときは、スリープ状態になりません。



●スリープ状態を解除するには

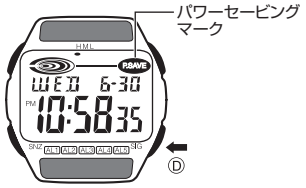
本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト（「●ライトを発光させる」）のように傾けたりします。

※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大2秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

時刻モードのとき、Ⓓボタンを約2秒間押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能がONのときは、パワーセービングマークが点灯します。
※Ⓓボタンを押すと12時間制表示と24時間制表示も切り替わります。



机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

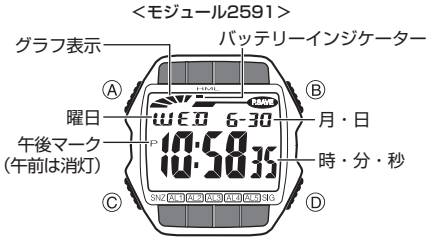
操作のしくみと表示の見方

※ 機種により形状は異なります。
※ 表示例はモジュール2590を使用しています（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※どのモードのときでも、Ⓒ ボタンを約1秒間押すと直接時刻モードに戻ります。

時刻モード



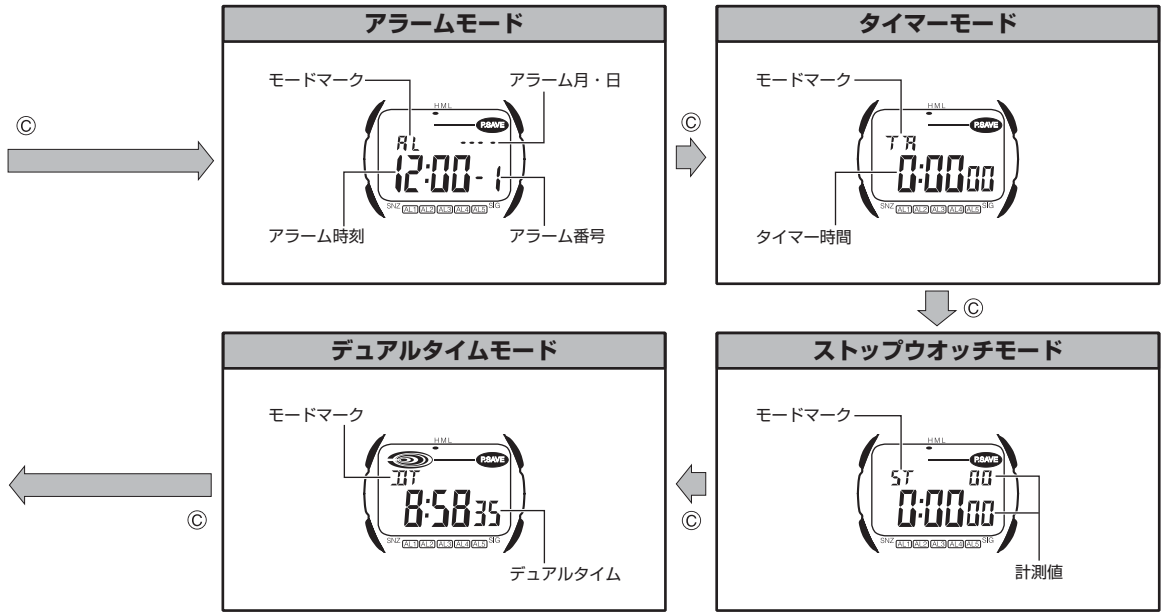


★12/24時間制表示切替について
時刻モードのとき、Ⓓボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後）と24時間制表示とが切り替わります。

★午後マークについて
モジュール2590では、午後はPMマークが点灯します（午前は消灯）。
モジュール2591では、午後はPマークが点灯します（午前は消灯）。

★曜日の見方
SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

※グラフ表示は現在時刻の秒に連動して点灯／消灯を繰り返します。
※バッテリーインジケーターの見方については「●バッテリーインジケーターの見方」をご覧ください。



CASIO

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光に当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると（レベル4）、メモリーされているデータや設定データは消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ライトの点灯
- アラーム・時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●バッテリーインジケーターの見方

レベル1	H M L	すべての機能が使用可能
レベル2	H M L	すべての機能が使用可能
レベル3	H M L CHARGE	液晶表示不可、ライト点灯不可、アラーム・時報などの報音不可
レベル4	H M L	時計発振不可（時計機能停止）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル４になっても再度充電を行なうと使用できます。
※レベル4 から充電したときは、レベル3 になると表示が点灯しますので、時刻・カレンダーを合わせてください。ただし、レベル2 またはレベル1 になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

●充電必要サイン

レベル3の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●充電時のご注意

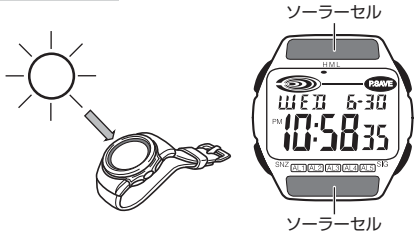
以下のような高温下での充電はお避けください。
●炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
●白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
●直射日光が長く当たって、高温になる所
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作に加え、下記の条件で使用した場合に約11ヶ月動き続けます。

1日あたりの使用量
- ライト：1.5 秒間
- アラーム報音：10 秒間
- 表示点灯：18 時間

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

〈1日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

* 基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

- 各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル4 ➡ レベル3	レベル3 ➡ レベル2	レベル2 ➡ レベル1
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約24時間	約15時間	約17時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約122時間	約76時間	約85時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	– – –	約155時間	約172時間

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

ライト点灯について

本機にはLEDライトがついており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときにライトが発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる ～手動発光～

どのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すと約 1.5 秒間ライトが発光します。



※オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと発光します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて発光させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが発光する便利なフルオートライト機能です。
※明るいときは、自動発光しません。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約 1.5 秒間発光します。

準備：どのモードのときでも、Ⓑボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈ご注意〉
- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にⒷボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

〈オートライトご使用時の注意〉
- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、ライトの発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームの使い方

●アラームについて

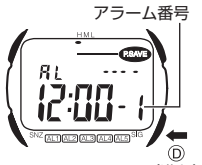
●通常アラーム
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴ります。
●スヌーズアラーム(アラーム1のみ切り替え可能)
設定した時刻になると、10 秒間電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。

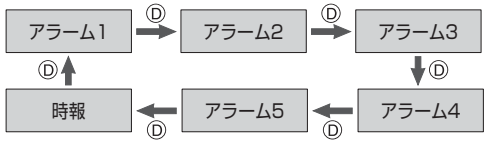
●アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

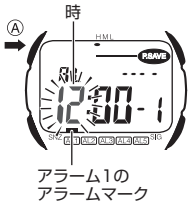




2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

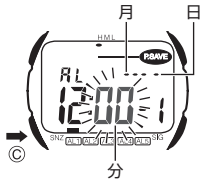
➡「時」が点滅します。
※該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。
※アラーム 1 がスヌーズアラームONのときにセット操作を行なうと、スヌーズ機能はOFFになります。

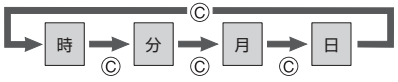


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。

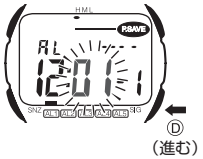




4. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。
※「月」をセットしないときは“－”を、「日」をセットしないときは“－－”を表示させます。



3.～4. の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM または P）、24 時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。
※「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

毎日鳴らす➡「時・分」のみセット
指定月に毎日鳴らす➡「月・時・分」のみセット
毎月同じ日に鳴らす➡「日・時・分」のみセット
指定月日に鳴らす➡「月・日・時・分」全てセット

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

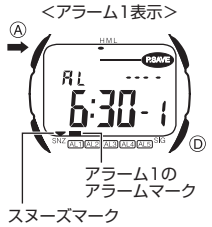
●アラームの ON／OFF 設定

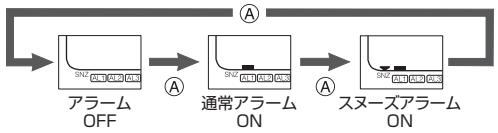
★アラーム 1（通常アラーム／スヌーズアラーム）

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、アラーム 1 を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐボタンを押すごとにアラームのON／OFFが以下の順で切り替わります。
※アラーム1のアラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。
※スヌーズアラームONのときはスヌーズマークも点灯します。





★アラーム 2～アラーム 5（通常アラーム）

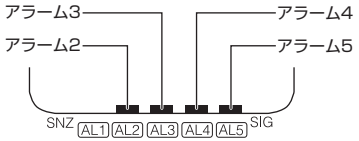
準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラームのON／OFFが切り替わります。
※該当のアラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。



<アラームマークの見方>



●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。
※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
※「●アラームの ON／OFF 設定」の手順でアラームマークとスヌーズマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ご注意■

●スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

・時刻モードでセット状態に入ったとき。
・アラームモード（アラーム 1 表示）でセット状態に入ったとき。

●基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1 回のみ報音を行ないます。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを約 2 秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ 時報の使い方

●時報について

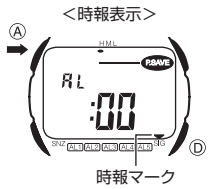
毎正時（00 分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

●時報の ON／OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。
※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーモードでは、1分単位で24時間までセットでき、1秒単位で減算計測を行ないます。
セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップすると、計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

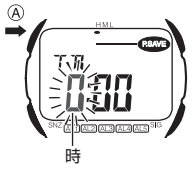
●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）
タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“⟲”マークが点灯します。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓐボタンを約1秒間押します

➡「時」が点滅します。

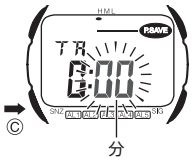


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

時 ⇄ 分
Ⓒ



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。



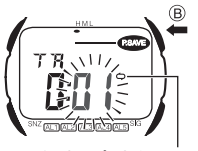
2.～3. の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※1分単位で24時間までセットできます。
※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0：00”にします。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

➡表示が点滅しているとき、Ⓑ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマーが切り替わります。
※オートリピートタイマーを選ぶと、“⟲”マークが点灯します。
※ Ⓑ ボタンを押すと、ライトも点灯します。



5. セットを終わる

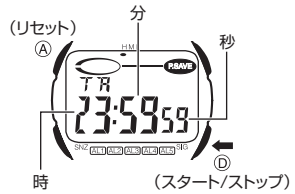
Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測は1秒単位で行います。
※計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。



●計測ストップ後、Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
●ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

ストップウオッチの使い方

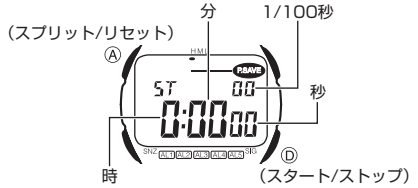
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット
積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット
└スプリットタイム表示

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

●計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

デュアルタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」と連動しています。

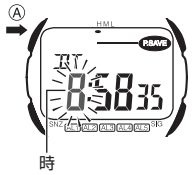
※基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

■デュアルタイムのセット

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押します

➡「時」が点滅します。

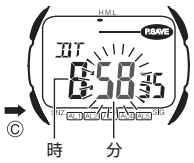


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

時 ⇔ 分
Ⓒ

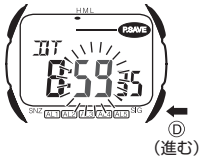


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



2.～3.の操作を繰り返して、デュアルタイムを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PMまたはP）、24時間制にご注意ください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行ないます。

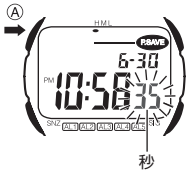
充電切れなどで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約1秒間押します

➡「秒」が点滅します。

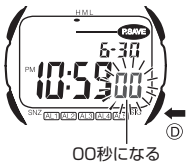


2.「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）

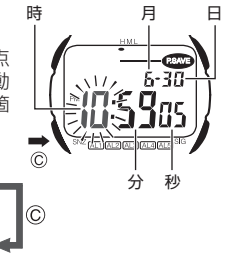


3.「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

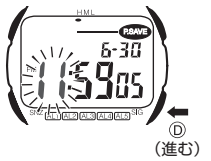
秒 → 時 → 分
日 ← 月 ← 年
Ⓒ



b. Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PMまたはP）、24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。